

経営学部の学生の皆さんへ

経営学部長 佐野 哲

この冊子（以下、手引き）には、経営学部で学び、単位を修得し、進級・卒業するために必要な内容が記載されています。毎年、年度初めに手引きを一読し、記載内容を必ず確認してください。

また、web シラバスには、皆さんが経営学部で学ぶ、市ヶ谷基礎科目、経営学の専門教育科目、および連環科目の内容が記載してあります。各授業の概要、到達目標、授業方法、授業計画、使用テキスト、参考文献、成績評価の方法などが具体的に書かれていますので、よく読んで、自分の関心や目的にあわせて、計画的に履修科目を選択するために役立ててください。なお、web シラバスには、各講義の授業時間外の学習（予習や復習）についても記載されています。これは、単位の取得には授業時間と同じだけの予習、復習時間が必要とされているからです。

繰り返しになりますが、手引きとweb シラバスは必ず熟読し、不明な点がある場合は勝手な解釈や判断をせず、経営学部窓口で確認のうえ、単位修得や進級・卒業するために必要な手続きを行うようにしてください。

【専門教育科目のカリキュラムの概要】

専門教育科目は、1～4年次に経営学、経済学、情報などの諸分野を基礎から応用まで段階的に学べるよう、以下の科目群を設置しています。

- ・専門基礎科目 A 群は主に1年次生を対象とし、経営学総論、簿記入門、ミクロ経済学入門、情報科学実習の4科目で構成され、専門科目を学ぶ上での基礎としての位置づけです。
- ・専門基礎科目 B 群は主に2年次生を対象とし、経営管理論、会計学入門、経営戦略論、基礎統計学、マーケティング論、金融論の6科目で構成され、専門基礎科目 A 群と学科専門科目の橋渡しとしての位置づけです。
- ・学科専門科目は3・4年次生を対象とし、各学科の専門分野の科目を中心に構成されています。経営学科の専門分野は組織、人材、会計、経営戦略学科の専門分野は国際経営戦略、経営史、経営分析、市場経営学科の専門分野は、マーケティング、ファイナンス、情報・技術です。これら3学科の学科専門科目群は、自学科の専門科目群から一定数以上の単位を修得する必要がありますが、他学科の専門科目群からも自由に履修できる柔軟で自由度の高いカリキュラムとなっています。
- ・少人数の専門教育科目としては、入門演習（1年次）、演習（2年次以降）、外国語経営学の科目群が、また、将来のキャリアに役立つ実践的な内容の科目群としてキャリアプログラム科目、特殊講義などがあります。このうち、「演習」（2年次以降、通称ゼミ）はほぼすべての専任教員が担当しており、教員の専門分野の一端に触れ、合宿などを通じて教員と学生との全人格的な交流も期待できます。ゼミ生の募集は原則として毎年秋に実施されますが、4月に追加募集もありますので学部掲示板等を確認してください。また、「特殊講義」は常置科目では扱いきれないテーマを扱っており、実務家の先生による寄付講座などもあります。
- ・連環科目は、主に2年次以降に将来のキャリアに役立つ関連科目として、法律関係科目、グローバル教育センター主催科目などで構成されています。

【グローバルビジネスプログラムの科目履修について】

経営学部では、2016年9月に英語学位課程 GBP（Global Business Program）がスタートしました。これは、全ての授業を英語で学んで経営学士号をとるプログラムですが、一般の経営学部生や交換留学生（ESOP）もその大半の授業を履修できます。少人数クラス的环境下で専門科目を英語で学ぶことができる機会としてぜひ積極的に活用してほしいと思います。ただし、授業の履修にあたっては一定の英語力が必要となります。また、授業の位置づけが入門系の科目（「連環科目」の扱い）とそれ以外の科目（「特殊講義」の扱い）で異なる点も注意してください。

皆さんが、もし何を勉強しているのか見えなくなったり、何を勉強したいのか迷ったりしたら、ぜひweb シラバスに立ち戻ってみてください。経営学部での4年間は思いのほか早く過ぎ去ってしまいます。4年間の学生生活が自立した社会人として活躍するための基礎作りの場になるよう、明確な目標や計画を立て、真摯に取り組まれるよう切望します。